



環境衛生巡回相談員が毎月1回明るい環境、明るい町づくりを目指して、町内の巡回指導にがんばっています。

この風景は不法投棄物のゴミの処理をしているものです。

相談員の苦労は大変なものです。不法投棄をなくし、身のまわりの環境をきれいにし住みよい町づくりにお互い協力しましょう。



夏の味覚、北浦のウニ漁が最盛期を迎え、連日、ウニ取りがさかんに行なわれています。沿岸の浅いところに生息しており、箱めがね、潜水等により採集されています。年々資源も少なくなっており、昨年より一割高で取り引きされ、北浦のウニは良質のため下関方面に出荷されており全国からひっぱりだこの注文があります。



町内野球選手権大会が6月17日(日)に町民グラウンドにておこなわれました。

参加チームは、ブロック編成チームと商工会チームの10チームがありトーナメント試合により勝負をわかちました。結果は、優勝第3ブロック、準優勝は第1ブロックでした。



(明倫小6年生によるさつまいも植え)

この度各小学校、中学校で生徒の勤労体験学習の一環として農作業実習園が設置されました。中学校は、カボチャ、ナスビ、明倫小ではサツマイモ、浅田小では水稲栽培がそれぞれおこなわれています。農作業を通じて農業の理解、認識を図ると共に、勤労の尊さ、たくましい心身の育成が推進されようとしています。

**町内で
たばこは 買いましょう**

吸いながらをなくして
きれいな街づくり



ちよつとした心づかいも味のうち

浴衣

浴衣は、もとは入浴後に着る湯かたばら(帷子)の略で、本来は麻地でしたが、のちに木綿になりいまでは夏の入浴後に着る単の総称のようになっていきました。

ある外人が、「浴衣はパジャマ兼フォーマル・ウェアなのです」と不思議がっていました。なるほど旅館の浴衣は、宴会のユニホームでもあり、寝間着にもなるのだから、外人の目には奇異に映るにちがひありません。

とはいえ、わたしたち日本人にとっては、浴衣はやっぱり夏の季節。ひところノアイロンの合織の浴衣が目立ちましたが、けっきょく涼しさは木綿にかざると称する手染めものが本流のようです。

柄ものにぎやかな多色系がはやっただともありますがかごろは、またアイ(藍)色を中心とした涼しげなものがふえています。